

第二号議案

令和六年度大分県教育委員会の重点方針について

令和六年度大分県教育委員会の重点方針を別紙（案）のとおり定める。

令和六年二月二十八日提出

大分県教育委員会教育長職務代理者

教育委員 岩 崎 哲 朗

提案理由

県教育委員会の教育行政及び教育指導において、令和六年度に特に重点的に取り組む事項や考え方をまとめた重点方針を定めたいので提案する。

令和  
6  
年度

## 大分県教育委員会の重点方針

—「教育県大分」の創造に向けて—

案

AIやIoTなどの急速な技術の進展やグローバル化など社会が大きく変化している中、「教育県大分」創造プラン2016の下、教育を担う人材の確保・育成やチーム学校による取組を充実させ、教育の多様性と包摂性を高めつつ教育水準の向上を図ります。

教育分野のデジタル改革は、主体的・対話的で深い学びの実現とともに、教育活動の一層の高度化につながることを踏まえ、GIGAスクール構想の次なる展開として教育DXを推進します。

また、文理の枠を超えたSTEAM教育等を通じて課題発見・解決力やデータサイエンス等を活用する力の涵養を図るなど、地方創生を担う多様な人材の育成に取り組みます。

## 1 子どもの力と意欲の向上に向けた組織的取組の推進 —「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上—

### 基盤となる「学校マネジメント」

学校の喫緊の課題を踏まえた重点目標等を設定・実践し、取組の検証・改善を繰り返す 「目標達成マネジメント」	主任等が管理職と教職員をつなぎ、分掌間の連携を密にして校長のリーダーシップを支える学校運営体制を構築する 「組織マネジメント」	家庭・地域との 「連携と分担」による マネジメント
---	--	---------------------------------

### 組織的課題解決に向けた「学校マネジメントを活用した取組」

授業改善の徹底	◆小中段階での新大分スタンダードに基づく授業の質の向上と外国語教育の充実 ◆高校での3つのビジョン(方向性)と6つのアクション(方策)に基づく授業改善 ◆個別の指導計画推進教員による指導・助言
体力向上の推進と健康課題への対応	◆1校1実践の短期の検証・改善など運動の習慣化・日常化に向けた取組の推進 ◆生活・食習慣の改善とフッ化物洗口等むし歯本数の減少に向けた取組拡充
いじめ・不登校対策等の推進	◆専門スタッフの活用やフリースクール等との連携による学びの保障 ◆「人間関係づくりプログラム」の活用による魅力ある学校・学級づくりの推進
教職員の資質能力の向上	◆研修履歴等を活用した校長による指導助言等の実施 ◆教員等のICT活用指導力の向上を図る研修の充実
学校における働き方改革の推進	◆各学校の実情に応じて重点的に取り組む「1改善運動」の着実な進捗管理 ◆中学校における休日の学校部活動の地域への移行促進
教育指導体制の強化 (県 ←→ 市町村 ←→ 学校)	◆市町村教育長会議等を通じた市町村教育委員会との連携強化 ◆校種間における系統性・一貫性を意識したキャリア教育の推進

## 2 デジタル技術を活用した新たな学び・教育環境の実現 —教育DXの推進—

- ◆1人1台端末の効果的な活用による児童生徒の個別最適な学びや協働的な学び等の充実
- ◆校務・授業活用を見据えた生成AIの活用による校務効率化に向けた実証研究
- ◆遠隔教育システムの構築による生徒の適性や興味・関心等に応じた多様な学びの機会の充実
- ◆ICTを活用した文理横断的・探究的な学びの充実によるデジタル人材の育成
- ◆1人1台端末を活用した「心の健康観察」導入による児童生徒の不安や困りの早期認知・早期対応

## 3 地域を担う人づくりと活力ある地域づくりの推進

- ◆STEAM教育等の探究的な学びの推進による幅広い分野で新しい価値を見つけ生み出す人材の育成
- ◆地域を担う人づくりと活力ある地域づくりに貢献する魅力・特色ある高等学校づくりの推進
- ◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた地域人材の育成・研修等の充実
- ◆さくらの杜高等支援学校を中核とした特別支援学校と地域の連携による一般就労の促進

## 『各分野別の重点項目』

案

## I 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

- 学習指導要領の確実な実施のための指導・支援の充実
- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進
- 新大分スタンダードを意識した単元構想(小・中)や、3つのビジョン(方向性)と6つのアクション(方策)(高)に基づく主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 教科の専門性に基づく学習指導や生徒指導の充実のための小学校高学年における教科担任制の推進
- 教科指導力向上等を目指した「中学校学力向上対策3つの提言」の促進
- 読解力・表現力・想像力等の育成に向けた主体的な読書活動・図書館利活用の推進
- 「人権尊重の3視点」を取り入れた人権の授業づくりの推進
- 1校1実践の更なる工夫など運動の習慣化・日常化に向けた体力向上対策の推進
- 地域に応じた子どもたちの文化芸術・スポーツ環境の構築
- 食育、生活・運動習慣の改善、フッ化物洗口の取組等によるバランスのとれた身体づくりの推進
- 幼稚園教育要領等の理解促進による幼児教育の質向上と幼保小の円滑な接続に向けた取組の推進
- 小・中・高等学校をつなぐキャリア・ノートの活用等によるキャリア教育の推進
- 小中学校等における子どもたちの個別の教育的ニーズに応じた通級による指導の充実
- 特別支援学校高等部生徒の一般就労促進に向けた職業教育の充実
- どの地域においても多様で質の高い教育環境を提供できる遠隔教育の推進
- 日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒への指導・支援体制の充実

## II グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

- 海外大学等と連携した遠隔講座やグローバルリーダー育成塾等、挑戦意欲等を喚起する機会の充実
- 英語4技能(特に発信力)の育成に向けた小・中・高等学校の学びをつなぐ英語教育の推進

## III 安全・安心な教育環境の確保

- 1人1台端末を活用したSOSキャッチ、登校支援員の配置拡充、SC・SSW等の活用
- ICTを活用した家庭学習支援の実施や補充学習教室等による不登校児童生徒の学ぶ機会の確保
- 図書館・青少年の家・教育支援センター等を活用した不登校児童生徒の学校復帰・社会的自立の支援
- 防災教育コーディネーターの資質向上や登下校時の安全確保対策等による防災・防犯体制の充実・強化

## IV 信頼される学校づくりの推進

- 「芯の通った学校組織」を基盤とした地域・家庭との目標協働達成等による教育水準の向上
- 学校・家庭・地域が目標・ビジョンの達成に向けて協働するコミュニティ・スクールの推進
- 広域人事異動や教職員評価システムの効果的運用、OJT等を通じた人材育成と教職員の意識改革
- 教員業務支援員の配置・活用や部活動改革等による学校における働き方改革の推進
- 若年期からの生活習慣病予防対策・メンタルヘルス対策の推進
- 地域を担う人づくりと活力ある地域づくりに貢献する魅力・特色ある高等学校づくりの推進

## V 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

- ライフステージや県民ニーズに応じた多様な学習機会の提供と地域の担い手育成
- 県民の体験活動や読書活動の推進に貢献する青少年の家及び県立図書館の機能強化
- 大分県人権問題講師団等を活用した多様な人権課題に応じた学習活動の推進
- 協育ネットワークを基盤とした地域課題の解決や子どもの育成に取り組む地域学校協働活動の充実

## VI 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

- 「大分県文化財保存活用大綱」を基盤とした、活かして守る持続可能な文化財保護体制の確立
- デジタル技術を活用したおおいたの歴史・文化の魅力発信と継承者の育成

## VII 県民スポーツの推進

- 総合型地域スポーツクラブを活用した、ライフステージに応じたスポーツ環境の整備
- 全国高等学校総合体育大会に向けた機運の醸成と円滑な大会運営

## VIII 世界に羽ばたく選手の育成

- 国内外の大会で活躍できる選手の育成・強化をはじめとした「チーム大分」の更なる競技力向上
- 優れた運動能力・資質を有するジュニア選手の発掘・育成及び一貫指導体制の確立

学校教育

社会教育

文化財・伝統文化

スポーツ